

## 会 議 事 録

1 会議名	令和4年度 長岡市防災会議
2 開催日時	令和5年3月23日（木曜日） 午後3時から午後4時5分まで
3 開催場所	アオーレ長岡東棟4階大会議室
4 出席者名	(会長) 磯田市長 (委員) 今井委員、小川（純）委員（代理）、木村委員（代理）、高橋委員、田中（健）委員（代理）、小川（信）委員、西尾委員（代理）、金子（信）委員、中川委員、本間委員、金子（隆）委員（代理）、帆苺委員（代理）、古泉委員（代理）、須田委員（代理）、山崎委員（代理）、高見委員、大滝委員、野口（和）委員、渡邊（則）委員、山田（慎）委員、大野委員、小池委員、金澤委員、高坂委員、鈴木委員、渡邊（健）委員（代理）、中村委員、川上委員（代理）、吉田委員（代理）、徳山委員（代理）、川嶋委員、野尻委員、金子（正）委員、山田（雅）委員、宮田委員、田中（聡）委員、渡辺委員（代理）、島田委員、長澤委員、小村委員、野口（剛）委員（代理）、宮下委員、大黒委員、大島委員、古川委員、佐野委員、樋熊委員、三条委員、羽賀委員（代理） (事務局) 桜井防災政策担当課長、金子危機対策担当課長、長谷川防災政策担当課長補佐、渡辺危機対策担当課長補佐、桑原防災政策担当係長、上村危機対策担当係長、石田主査
5 欠席者名	品田委員
6 議題	長岡市地域防災計画 令和4年度修正（案）について

7 審議結果の概要	長岡市地域防災計画（本編。原子力災害対策編を除く。）について、成案のとおり修正することを議決した。
8 審議の内容	
野口危機管理監 （委員）	<p>定刻になりましたので、これより令和4年度 長岡市防災会議を開きます。</p> <p>本日は、50人の委員のうち本人又はその代理人49人から出席をいただいております。長岡市防災会議運営規程第2条第2項の規定により、会議が成立していることを御報告します。</p> <p>ここからの議事の進行につきましては、運営規程第2条第3項の規定により、議長である磯田市長に行っていただきます。</p>
磯田市長（会長）	<p>長岡市防災会議会長の磯田でございます。議事に先立ちまして、一言ご挨拶申し上げます。</p> <p>皆様、本日は年度末のご多忙のところ、大勢の皆様からお集まりいただき、ほぼ全員の方がお集まりいただいたということで誠にありがとうございます。本日の会議でご審議いただきたい事項は、長岡市地域防災計画の改定についてです。</p> <p>この計画は災害対策基本法に基づき、この防災会議が作成することとされているものでして、内容としては災害対策に係る総合的かつ基本的な計画となっております。このたび9年ぶりの全面改定を行いたいものです。</p> <p>近年、ご承知のように自然災害が激甚化・頻発化しています。本市におきましても、令和元年の台風19号の信濃川の氾濫リスクが顕在化したということが記憶に新しいですが、長岡市の独自の避難情報として信濃川早期警戒情報を新設する中で、できるだけ浸水しない場所への車での避難、あるいは自宅の上層階への避難を呼びかける長岡方式の避難行動というものを市民の皆様を示させていただいたところ です。</p> <p>このたびの計画改定では、こうした長岡市独自の取組や昨今の国の動きなどを的確に反映していきたいというものです。</p> <p>また、いささか長大となっている現在の計画書を合理的に整理しながら、明瞭で活用しやすいものにしていきたいと考えているところです。</p> <p>本日は先日ご就任いただいた11人の女性委員の方々からも出席をいただいております。やはりこの防災という課題につきましても、女性の視点や経験、知見というものをしっかり生かしていきたいと思っております。</p>

	<p>本日は新たな防災会議の体制となっておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>それと今、長岡市における昨年12月のクリスマス前の雪の問題について、種々の議論が交わされているところです。今日は長岡国道事務所の谷口副所長、東北電力ネットワーク株式会社の山田所長もおいでいただいておりますので、状況についてご説明いただきたいと思います。</p> <p>長岡市の防災に関する全般の話題につきまして、議事の内容にかかわらず、皆様方のご意見、アドバイスを頂戴したいと考えておりますので、何卒、忌憚のないご意見をよろしくお願いいたします。</p> <p>それではまず、長岡市地域防災計画令和4年度修正（案）につきまして、危機管理監からご説明申し上げます。</p>
野口危機管理監 (委員)	(資料 No. 1 及び資料 No. 2 に基づき説明)
磯田市長 (会長)	説明は終わりました。質疑や意見はありませんか。
樋熊委員	<p>改定要旨についてのご説明について、主たる改定事項の⑧のところですが、男女共同参画の視点の項目が入ったことはとても評価したいと思います。</p> <p>それと細かいところですが、第2編第3章第4節の復興の基本方針について、そこにも女性の視点や高齢者、障害者など要配慮者の参画促進という言葉が入ってますので、ぜひともそれは言葉だけではなく、実際にお声が届くようにしていただきたいのが1点です。</p> <p>それから、第2編第1章第30節に学校等の防災対策、防災教育がありますが、これはぜひとも重要なことなのでやっていただきたいです。</p> <p>また、ご意見の中にもペットの保護対策がありますが、今ペットを飼っていらっしゃるお宅も本当に多いので、こちらの方も、ぜひとも前向きに対策していただきたいと思います。ありがとうございました。</p>
磯田市長 (会長)	すみません。三つ目のところをもう1回お願いします。どういう内容でしたか。最後のところです。

樋熊委員	<p>ペットの保護対策です。資料 No. 2にも意見がいっぱい出てますけれども、やっぱりペットを飼ってらっしゃるお宅が結構多いので、この保護対策に関しても飼っている家、飼い主自身をご存じない方がいらっしゃるかもしれません。その辺もやっぱりきちっと、私たちの方で気を付けていかなきゃならないのですが、ぜひともそれは市として動物の命も大事ですので、お願いしたいと思います。以上です。ありがとうございました。</p>
磯田市長（会長）	<p>ありがとうございました。今主たる改定項目の⑧男女共同参画の視点についての評価と、第2編第1章第30節の学校の防災対策、防災教育の記述についてのご指摘、そしてペットの保護についての記述。この3点について今頂きましたが、事務局の方で何かご説明なり、言いたいことはありますか。こういうところを頑張っているだとか。</p>
野口危機管理監（委員）	<p>ご意見ありがとうございました。</p> <p>まず、男女共同参画の知見を取り入れた防災対策ということでご意見を頂きました。この点に関しましては、令和5年度に入りましたらこれを具体的な形にするということで、女性の方をメンバーとした有識者懇談会を立ち上げまして、避難所運営をはじめとした防災対策全般について、いろいろとご意見を頂きたいと考えています。そこで出た意見を防災施策の強化、向上に反映していきたいと思います。</p> <p>それから、避難所におけるペット対策について、事務局の説明はよろしいですか。</p>
桜井防災政策担当課長（事務局）	<p>事務局の防災政策担当課長桜井と申します。危機管理監の答弁に補足をさせていただきますと、まず女性の声を届ける工夫という部分については、先ほど説明を申し上げたように、新年度、女性の視点からの防災推進事業ということで懇談会の設置を予定しています。その中で地域の防災活動ですとか、避難所の運営や在宅避難の対策、物資について、検討を深めていきたいと考えています。</p> <p>続きまして、ペットについてですが、令和4年8月の防災訓練におきましても、モデル的にペットの保護対策を行っています。例えばマニュアルの整備ですとか、避難所にペットを避難させた場合における保護体制構築の初動に向けたスターターキットの検討なども行ったところですが、今後も引き続き訓練の中で充実させていきたいと考えています。</p>

樋熊委員	<p>最後に、学校についてのご質問がありましたけれども、現在はNPOと連携しながら出前講座等を行っているところです。そういう中で、女性活躍と普及啓発の取組について、しっかりと充実させていきたいと考えています。</p> <p>ありがとうございました。</p>
磯田市長（会長）	<p>ほかの項目で何かご質問、ご指摘がございましたらお受けしますので、よろしく申し上げます。</p> <p>（質疑等なし）</p>
磯田市長（会長）	<p>それでは、お諮りいたします。長岡市地域防災計画令和4年度修正（案）につきましては、本日ご説明、ご提示の成案のとおりとすることにご異議ありませんか。</p> <p>（異議なしの声及び拍手あり）</p>
磯田市長（会長）	<p>拍手も頂きました。ありがとうございます。では異議なしということで、本件は成案のとおりとすることに決しました。</p> <p>なお計画の公表までの間に字句の整理等、軽微な修正の必要が生じた場合には、会長に一任いただいてもよろしいでしょうか。</p> <p>（異議なしの声）</p>
磯田市長（会長）	<p>ありがとうございます。</p> <p>次に3その他に移ります。まず(1)浸水想定区域等に位置する要配慮者利用施設について、事務局から報告があります。</p>
桜井防災政策担当課長（事務局）	<p>（資料 No. 3 に基づき説明）</p>
磯田市長（会長）	<p>説明は終わりました。本件について、質疑や意見はございますか。</p> <p>（質疑等なし）</p>

磯田市長（会長）	<p>では、これは報告事項ですので、この程度にとどめます。</p> <p>次に(2)令和4年12月の大雪について、委員から報告があります。</p> <p>まず、ア国道の渋滞について、北陸地方整備局長岡国道事務所の谷口副所長をお願いします。</p>
谷口副所長（委員 代理人）	<p>（資料「令和4年12月長岡・柏崎地域の大雪に関する検証について」に基づき説明）</p>
磯田市長（会長）	<p>ありがとうございました。今ご説明いただいた内容につきましては、また後ほどご意見を賜ればと思います。</p> <p>次に報告の二つ目、イ市内の停電について、東北電力ネットワーク株式会社長岡電力センターの山田所長からご説明をお願いします。</p>
山田所長（委員）	<p>（資料「2022年12月_雪害対応の概要について」に基づき説明）</p>
磯田市長（会長）	<p>ありがとうございました。今ほど報告がありました2件について、質疑やご意見はありますか。</p> <p>（質疑等なし）</p>
磯田市長（会長）	<p>長岡国道事務所副所長から、詳細な資料も頂いて、説明していただきました。その後非常に精緻な分析を踏まえた対応を取っていただいて、今年1月の雪のときには、大きな問題もほぼ起きなかったと認識しているところです。</p> <p>私としては、直接の道路管理者ではないにしても、今後こういったことが起きると市民生活や産業、医療など、いろいろなところに大きな影響が出てきますので、先般2月に北陸地方整備局長と、3月に入ってからには斉藤国土交通大臣に陳情書をお渡ししています。</p> <p>長岡国道事務所からご説明いただいたのは、どちらかというとソフト的な対応、例えば通行止めや除雪ですとかオペレーションの問題でしたが、私がぜひお願いしたいということで陳情したのは、ハード的なインフラ整備の観点です。例えば車両が滞留して、そこでスタックして除雪がままならないという現象が今回あったわけで、そういった車両が発生するときには、大規模な面積の退避スペースを設けて、そこに大型トラックを逃がしてしまう。その退避スペースを確保してほしいということで、国道の沿道や道の駅にそういったスペースやエリ</p>

アを設けてほしいという陳情をしました。

また、この東バイパスについて、中之島見附インター近辺から妙見、あるいは越の大橋辺りまで、そしてそこから小千谷に入って川口の牛ヶ島辺りまでに至る33kmの長い区間にわたり、約1,000台の大型トラックの滞留がありました。それを解消するには、やはりハード的な面で、例えば消雪パイプを全線に付けてほしいといったことも陳情しました。

また、長岡国道事務所管内の除雪体制をさらに強化していただいたり、監視カメラを設置したり、情報表示板を更に増設したりといったこともお願いしたわけです。

今回の滞留の原因の一つに雪が降り始めた早期の時間帯に高速道路で交通事故が起きたことがあります。それにより、通行止めになって除雪を始めたのですが、それをきっかけに高速道路をストップさせて下道に下ろして、国・県道に大型車両が集中してしまったという流れです。ここは私も、当日大雪が降り始めて柏崎の方でいろいろ問題が出て、マスコミがそういった報道に入る段階で、長岡国道事務所と連絡を取りながら、直接NEXCO東日本に対して早く除雪して高速道路を通してほしい、ずっと止めたままでは困るということを言いました。

ただ、今日は長岡警察署の方も来ていらっしゃいますが、速度規制や高速自動車道担当の交通警察の方針もあって、事故防止のためにできるだけ車を走らせないという方針が貫かれたため、特に長岡東バイパスの33kmは猛烈に滞留が生じてしまったということです。

そういう意味では、NEXCO東日本と今後の協議の中でやらせていただきますが、今後の広域の通行止めや解除の問題について、国土交通省からもぜひそこに入っていただきたいというお話をしております。

また、地域防災計画の中で水害が一番大きな課題になってきましたが、水害も今回の雪の問題も、気象予測の精度が高まらないと、本当に降るのか降らないのか、降るとしたらどこで降るのかということです。今回、魚沼では降りませんでした。魚沼でも一緒に降るのが普通だというふうに私は思います。そうしたときに、この近辺で通行止めにするんじゃなくて、広域的なオペレーションが必要なんじゃないかということ、北陸地方整備局長や国土交通大臣に申し上げながら、今後の課題として取り組んでいただくようお願いしたところです。

停電につきましては、皆さんご承知のように、今回の雪は湿っていて重かったんです。皆さん、悠久山公園の蛇橋は知っていますか。表参道をずっと行って、かぎの手になっていますよね。直線のかぎの手

<p>磯田市長（会長）</p>	<p>を曲がってまっすぐ行くと、蒼柴神社に行く参道の林の中に入ってすぐに大きな石の橋があります。これについて、親指隠していかないと親が短命になるよってということで、子どもの頃こうやって隠して渡った橋があるんですが、その近くにあるモミの木が倒れたんです。モミの木が倒れるってどういうことかなと。あれは100年、200年の本当に丈夫で大きな木なので、それが倒れて杉の木をまた倒して、蛇橋の欄干を壊してしまったんです。これから本復旧ということですが、本来倒れるべきでない木が随分倒れたというほどの現象がありました。</p> <p>そういう中で、東北電力には本当に大変な作業を、現場は大変な思いをしていただきましたが、今後、やはり道路沿いの樹木の問題とか、木がどんどん大きくなっていく問題があるのかもしれないという認識を持っていますので、そういったこともこれから調査しながら対応できるものはしていきたいと思っている次第です。</p> <p>これらのことが今回の大雪、停電に対する長岡市としての考え方、対応でございましたが、それも含めて皆さんの方からもし何かありましたらお願いします。雨も大変、雪も大変、地震も本当に大変で、いろいろなものがありますけれど、またこれから皆様のお知恵を拝借しながら、長岡市民の安心そして安全をしっかりと守っていきたいと考えているところです。</p> <p>（質疑等なし）</p> <p>それでは、この件については報告事項ですので、この程度にとどめさせていただきます。</p> <p>以上をもちまして、令和4年度長岡市防災会議を終了します。ありがとうございました。</p>
<p>9 会議資料</p>	<p>別添のとおり</p>